

第 1 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

1 年 2 組 指 導 者 五 十 部 大 暁

単 元 説 明 文 を 読 む と き に 大 切 な こ と を 考 え よ う 「 じ ど う 車 く ら べ 」

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

言葉のつながりの視点

2 本単元で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿
本学級の子どもたちは、説明文の内容を捉えるための読み方として「問いの文に対応する答えの文を見付けること」や「題名や問いの文から話題をつかむこと」などを学習してきた。このような子どもたちが、「言葉のつながりの視点」を創出と受容、転移していくことは、説明文の内容を捉えるための読み方を広げていくことにつながるであろう。

本単元は、説明文を読む際に、言葉のつながりに着目したり、事柄同士を比べたりするよさについて考える学習である。本単元における言葉のつながりとは、文同士や段落同士のつながりのことである。子どもたちは、「そのために」の大切さについて話し合う中で、言葉のつながりに着目していく（創出）。そこで、既習の説明文を読み、言葉のつながりに着目するよさについて考えることで、「言葉のつながりの視点」が説明文の内容を捉えるために役立つことに気付く（受容）。そして、「言葉のつながりの視点」を意識することで、他の説明文でも言葉のつながりに着目しながら読むことができる（転移）ようになると考える。「言葉のつながりの視点」を創出と受容、転移していくことで、今後の国語科学習において、言葉のつながりに着目することができるようになるであろう。そうすることが、話や文章の内容を捉えたり、適切に表現したりすることにつながっていくと考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 「そのために」を抜いた文章と原文とを比較するよう促す。そうすることで、言葉のつながりに着目することができるようにする。【創】
- 説明文を読む際に、言葉のつながりが分かるよさを問う。そうすることで、「言葉のつながりの視点」が説明文の内容を捉えるために役立つと気付くことができるようにする。【受】
- 「そのために」と似た言葉を含んだ説明文を提示する。そうすることで、「じどう車くらべ」以外の説明文でも言葉のつながりに着目しながら読むことができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 説明文を読む際に、言葉のつながりに着目したり、事柄同士を比べたりするよさについて考えることができるようにする。
- 言葉のつながりに着目したり、事柄同士を比べたりすることで、説明文の内容を捉えるための読み方を広げていくことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○「そのために」の働きに気付いている。 ○事柄同士の比べ方を理解している。	○言葉のつながりに着目したり、事柄同士を比べたりしながら説明文を読んでいる。	○言葉のつながりや事柄同士の比べ方について考えようとしている。

5 指導計画（全 5 時間）

第 1 次 「じどう車くらべ」を読み、学習の見通しをもつ。（2 時間）

第 2 次 「そのために」の大切さや事柄同士の比べ方について話し合う。（2 時間）【本時 1 / 2】

第 3 次 言葉のつながりに着目したり、事柄同士を比べたりしながら「はたらくじどう車」を読む。（1 時間）

6 本時案 【令和2年11月5日 9:20~10:05 1年2組教室】

(1) ねらい 「そのために」の大切さについて話し合うことをとおして、説明文を読む際に、「言葉のつながりの視点」が説明文の内容を捉えるために役立つと気付くことができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 「そのために」の大切さについて話し合う。(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「そのために」を抜いた文章と原文との比較 「そのために」の大切さ 段落同士のつながり <p>2 言葉のつながりに着目するよさについて話し合う。(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉のつながりに着目することが、文章の内容を捉えるために役立つこと 	<ul style="list-style-type: none"> この説明文を読むときに「そのために」が大切だと言っている人がいたよ。 あれ、「そのために」くんが出てきたよ。自分の大切さをわかってほしいのだから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ「そのために」くんは大切なのだろう</p> </div> <p>A 黒板の「バスやじょうよう車」の文章には、「そのために」くんがいないね。どこか変な気がするな。</p> <p>・「しごと」と「つくり」とのつながりがわかりにくくなる気がするな。</p> <p>B 「そのために」くんが「しごと」と「つくり」とをつなげているのではないのかな。</p> <p>A <u>確かに、「そのために」くんがいますと、つながりが分かるよ。他の車ではどうかな。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> トラックもクレーン車も「そのために」くんがいますことで、つながりがわかるよ。 <p>A 「そのために」くんは、「しごと」と「つくり」をつなげるから大切なのだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> つながりがあるのは、「じどう車くらべ」だけなのかな。 <p>B 「うみのかくれんぼ」でも、生き物の「特徴」と「隠れ方」がつながっていたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問いと答えもつながっていたね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>説明文を読むときにつながりを考えるとどのようなよさがあるのかな。</p> </div> <p>A <u>つながりを考えると、説明文の内容がよく分かるよ。</u></p> <p>B そうか、つながりを考えて説明文を読むことが大切なのだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の説明文でも、つながりを考えて読んでみたいな。 	<p>○「そのために」を抜いた文章と原文とを比較するよう促す。そうすることで、言葉のつながりに着目することができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【創】</p> <p>○既習の説明文を提示し、言葉のつながりを見付けるよう促す。そうすることで、「言葉のつながりの視点」を意識することができるようにする。【受】</p> <p>○説明文を読む際に、言葉のつながりが分かるよさを問う。そうすることで、「言葉のつながりの視点」が説明文の内容を捉えるために役立つと気付くことができるようにする。【受】</p>

(3) 板書計画

